

不適合情報

2017年4月28日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

1. G I グレード 0件
2. G II グレード 0件
3. G III グレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	5号機	原子炉建屋付属棟地下3階作業用電源箱の扉ロック機構に破損を確認した。当該部を点検・修理。	
2	7号機	原子炉浄化系停止中における原子炉水導電率の手分析測定時、原子炉水採取配管の切替が行われなかったことにより当該分析が出来なかったことを確認した。当該事象の原因を調査。なお、原子炉水導電率はプロセス計器にて確認しており問題なし。	
3	その他	大湊側焼却炉建屋排気筒放射線モニタのサンプリング装置に除湿器出口温度が高いことを示す警報が発生し、当該サンプルポンプ(B)の自動停止を確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	